清流鉄道

長良川鉄道 長鉄

一九八六年（昭和六十一年）十二月、長良川鉄道は旧国鉄越美南線から営業を引き継ぎ開業した第三セクター鉄道です。美濃加茂市の美濃太田駅から郡上市の北濃駅までを結ぶ七十二・一キロの路線は、「日本まん真ん中」の岐阜県を南北に走っています。沿線には、水と踊りの城下町「郡上八幡」、「古今伝授の里フィールドミュージアム」がある「郡上大和」など古くからの行政の息づく町並みがあります。現在、この長鉄の現状は沿線の過疎化や車などを使う人で乗客が減少していることや長良川沿いに線路があるため川が増水すると線路が水につかり列車が通れなくなり長い運休になったことも何回もあり経営は苦しい状態が続いています。で、ぼくは長鉄を存続させるために沿線の観光名所をここで紹介し、鉄道に乗ってもらいたいと思います。

八幡町 郡上八幡駅 下車

郡上八幡には、日本三大民踊に数えられる盆おどりがあります。七月から九月にわたり三十日以上踊られます。なかでも八月十三日から十六日までの四日間は徹夜で踊り明かします。誰でもどんな格好でも輪に入って踊れる大衆的な盆踊りです。

郡上八幡城は、戦国天期郡上を統一した遠藤盛数が築城。天守閣からの眺望は抜群です。城下町には古い街並みや名所旧跡、美術館、民族館のほか、食品サンプル体験を楽しめる施設などもあり、ゆっくり散策ができます。

やなかのこみち

水の町で知られている八幡には宗祇水があります。室町時代の領主東常縁と連歌宗祇の古事を伝える湧水。今伝授の故事も全国名水百選にも指定されています。

大和町 徳永駅 下車

えもちやか

郡上徳永駅下車、徒歩二十分で古今伝授の里フィールドミュージアムに着きます。フィールドミュージアムは有名な建築家、滝光夫さんが設計した自然と建物の調和をコンセプトにした施設です。古今伝授とは、古今和歌集や当時の古典を伝える様式で五四〇年前この地の領主であった東氏九代、東常縁と宗祇という人物との関わりで古今伝授ができたと伝えられています。フィールドミュージアムの施設の中にあるフランス料理レストランもちどりは百千鳥と書き、意味は、鳥のように多くの人が集り、さえずるように談笑できる場所として名付けられました。

ミュージアム内にある篠脇山荘は、目の前に篠脇山が見えガラス張りの窓は、がくぶちになっていて山荘内からは、絵のようになっています。篠脇山には、東常縁の居城、篠脇城があります。この城は東氏十二代まで続いています。山城の麓には、名勝東氏館跡庭園があり広い芝生になっていて春には、弁当を持った家族連れがおどずれたり、地元の小学校の遠足にも使われています。名勝東氏館、庭園

美濃町 みなみ子宝温泉駅 下車

下車したらすぐ前に温泉の入り口があります。子宝の湯は、檜風呂に釜風呂、サウナに露天風呂を備えた温泉です。子宝の湯には、いわれがあります。古くから「子授け」「安産」の守り神として信仰を集めてきた「勝原子安神社」のすぐ近くにわき出た温泉ゆえの名称です。

「いわれ」はもう一つあります。平成二年の国勢調査によると、子安神社付近が日本の人口重心地となりました。日本の中心地、日本中の人達が子宝に恵まれるようにとの思いで付けられた名前でもあります。

駅構内の食堂の中には信号機があり、その色で何分前に列車が来るのが分かります。青色三十分前、黄色十五分前、赤色五分前

編集後記

知らない頃、必ずに電車を見に連れていってもらってから鉄道が大好きになりました。郡上市に転校してきてからは、地元の長鉄に乗ったりいろいろ調べたりしました。その内にきびしい運営の現状を知り、みなさんに利用してもらって長鉄を活気づけようと観光にスポットを当て新聞を作りました。

最後に

郡上八幡駅構内にふるさとの鉄道館があります。無料なので見にきてね。